

令和 5 年 6 月 15 日現在

機関番号：17301

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K13055

研究課題名（和文）学校組織内における管理職育成プロセスの解明及び育成プログラムの開発

研究課題名（英文）Investigating management training processes in school and their development systems

研究代表者

畑中 大路（HATANAKA, Taiji）

長崎大学・教育学部・准教授

研究者番号：70734383

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：管理職が学校組織内において管理職候補者の教員をいかにして見出し、その管理職候補者をいかにして育成するかについて、複数の学校を対象とした事例研究を行った。

研究の結果、明らかになったのは以下の2点である。第一は、管理職は日常的な対話を通じて管理職候補者を見出し、管理職候補者の力量形成の機会を得ている。第二は、管理職は管理職候補者の力量形成にあたって、育成システムや教職員が支えあう機会を設けることで実現している。

また、上記知見を踏まえ、長崎大学教職大学院における管理職養成コースカリキュラムの開発と、長崎県教育センターとの協働による管理職研修プログラムの開発を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アフターコロナへ向けた社会状況の変化や「学校における働き方改革」をはじめとする学校内部の変化など、学校内外を取り巻く環境は急速に変化しており、学校経営の最高責任者としての管理職への役割期待は高まっている。一方でその育成に関しては、各県の教育センター等で行われる任用後の単発的な研修実施にとどまる現状にある。

そのような中、学校組織内におけるOJTによる管理職候補者の育成は重要度を増しており、その際に求められる要点を本研究では明らかにしたとともに、その要点を組み込んだ育成プログラム案を教職大学院における1年間のプログラムで試行した。

研究成果の概要（英文）：In this study, we examined how managers find teachers to be candidates for managerial positions within school systems and how they train those candidates. For this study, I conducted a case study of multiple schools.

The results of the study revealed the following insights. First, managers find managerial candidates through daily conversations and work with the candidates to develop their management competencies. Second, managers develop their trainees' management competencies by providing them with opportunities to participate in training systems and encouraging staff to support each other. In addition, based on the above findings, we developed a curriculum for a management training course at Nagasaki University's Graduate School of Education as well as a management training program in collaboration with the Nagasaki Prefectural Education Center. The program and cooperation have revealed practical ways for creating a development system within the school.

研究分野：教育経営学

キーワード：管理職 ミドルリーダー OJT 育成 教職大学院

1. 研究開始当初の背景

現在の公立学校では、教員採用抑制期に採用された「薄い」ミドル層(40代前後)に対し、大量退職期を迎える「厚い」ベテラン層(50代)が存在する中、今後、急激に必要とされる学校管理職需要への対応が求められている。一方で、近年の学校管理職育成に関しては、各県の教育センター等で行われる任用後の単発的な研修実施にとどまる現状にあり、その量的需要に十分に 대응することができていない。しかしながら、アフターコロナへ向けた社会状況の変化や「学校における働き方改革」をはじめとする学校内部の変化など、学校内外を取り巻く環境は急速に変化しており、学校経営の最高責任者としての管理職への役割期待は一層高まっている。

上記動向を踏まえるならば、これまで一般的に行われてきた「学校外での管理職育成(Off-JT)」によって管理職育成を行うだけでなく、「学校内における管理職育成(OJT)」の在り様の検討が必須であるといえる。上記全国的な状況は、離島を多く抱える研究代表者の本務校が存する長崎県においても当てはまる。

2. 研究の目的

上記背景を踏まえ、管理職が学校組織内において管理職候補者の教員をいかにして見出し、その管理職候補者をいかにして育成するかについて検討する。当該育成はこれまでの学校組織においても実施されていたと思われるが、その知見は「暗黙知」となっており、次代への継承は十分になされていなかったと考えられる。そこでその「暗黙知」の「形式知」化を図ることを第一の研究目的とする。

また合わせて、「形式知」化した学校組織内における管理職育成の方策を多くの学校で活用できる形とすることも目指す。具体的には、学校組織内における管理職育成に取り組む学校管理職の力量形成を目指し、長崎大学教職大学院管理職養成コースのカリキュラムの開発と、長崎県教育センターとの協働による管理職研修プログラムの開発を目指した。

3. 研究の方法

本研究では、複数の学校を対象とした事例研究を行った。具体的には、下記4つの事例研究である。

「授業改革」を通じた「学校改革」に取り組み8年目となる公立G高校において、管理職がいかにしてミドルリーダーを見出し、当該ミドルリーダーを育成するべくいかなる働きかけを行ったかを示した。

「総合的な探究の時間」の充実に取り組む私立B高校において、当該取り組みを先導するミドルリーダーがいかなる言動で組織を動かしているのか、そしてその言動を可能とする管理職の働きかけはいかなるものであったのかを示した。

生徒会活動の活性化に取り組む公立OE中学校において、生徒会活動担当の若手教員を管理職がいかにして育成し、当該若手教員の活躍を通じて学校組織が活性化するプロセスを示した。

4小学校の統廃合により創立した公立T小学校において、学校運営協議会を活用したミドルリーダーの学校経営参画と管理職によるそのサポート、そして、T小学校地域住民(PTA会長)との協働による学校活性化の実態を示した。

また、上記4事例から得られた学校組織内における管理職育成の要点を教職大学院プログラムに反映させるべく、長崎大学教職大学院管理職養成コースにおけるプログラム作成と実施のサイクルを繰り返した。当該サイクルにおいては、管理職としての実務経験豊富な実務家教員によるフィードバックや受講院生からのフィードバック、修了後の院生の追跡調査や長崎県教育センター指導主事等との協議を通じた不断のカリキュラム改善を図った。

4. 研究成果

研究の結果、明らかになった学校内における管理職育成の要点は以下の2点である。

第一は、管理職は日常的な対話を通じて管理職候補者を見出し、管理職候補者の力量形成の機会を得ている。その場合は、職員室や校長室だけでなく、日常的な授業参観や廊下等での立ち話など、あらゆる機会・場を活用したものであり、その機会・場を捉える管理職の対話能力、ファシリテーション能力の重要性が示された。

第二は、管理職は管理職候補者の力量形成にあたって、育成システムや教職員が支えあう機会を設けることで実現している。直接的な関わりだけでなく間接的・婉曲的なかわりを通じて組織

構成員が関わり合う中で、管理職候補者は自身の実践や決断への確かな手ごたえを得ることができ、その手ごたえが管理職としての力量形成に資するものとなっていた。学校組織内における管理職育成に取り組む管理職には、上記のような環境構成能力も求められると言える。

また、上記知見を踏まえた学校管理職育成プログラムを長崎大学教職大学院管理職養成コースにおいて作成し、試行した。作成・試行は長崎県教育センターとの協働で行い、また、長崎県教育センターで行われる管理職・ミドルリーダーを対象とした各種研修との連動可能性を示した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 加藤稚子, 篠崎信彦, 畑中大路	4. 巻 20
2. 論文標題 地域と共にある学校を実現する管理職の働きかけ～中学校における「つながり」づくりの事例分析～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 137-146
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 馬場諭治, 篠崎信彦, 畑中大路	4. 巻 20
2. 論文標題 学校の教育力を高める人材育成に関する考察 若手教職員を育成する校内での環境づくりについて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 207-216
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 なし
2. 論文標題 学校管理職等対象調査（インタビュー調査）について 教師はオンライン授業をいかに受け止め、対応したか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 附属学校オンライン授業実施に伴う調査研究報告書	6. 最初と最後の頁 65-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 584
2. 論文標題 「ミドルリーダー」概念の整理（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第1回）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 585
2. 論文標題 役割期待と課題（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第2回）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 586
2. 論文標題 アイデア創造プロセス（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第3回）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 587
2. 論文標題 「授業改革」を通じた「学校改革」（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第4回）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 588
2. 論文標題 「授業改革」を通じた「学校改革」（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第5回）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 589
2. 論文標題 探究学習の推進 (学校を動かす!ミドルリーダーのマネジメント 第6回)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 104-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 590
2. 論文標題 探究学習の推進 (学校を動かす!ミドルリーダーのマネジメント 第7回)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 591
2. 論文標題 生徒会活動の活性化を通じた学校改革 (学校を動かす!ミドルリーダーのマネジメント 第8回)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 592
2. 論文標題 生徒会活動の活性化を通じた学校改革 (学校を動かす!ミドルリーダーのマネジメント 第9回)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 593
2. 論文標題 「地域とともにある学校づくり」の展開（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第10回）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 594
2. 論文標題 「地域とともにある学校づくり」の展開（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第11回）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 595
2. 論文標題 【総括】「学校改善」の要点（学校を動かす！ミドルリーダーのマネジメント 第12回）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路, 池田一幸, 青木大祐, 野崎晃由	4. 巻 85
2. 論文標題 ミドルリーダーの省察を促す方法の検討：10年間のインタビューデータの共同分析を通じて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 57-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 赤木 進也, 畑中 大路	4. 巻 19
2. 論文標題 子どもの育ちを支える大人のつながりに関する研究：コミュニティ・スクールの管理職に焦点を当てて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 237-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田川 一弥, 畑中 大路	4. 巻 19
2. 論文標題 カリキュラムの実践と改善：キャリア教育の取り組みを事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 247-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 前川 卓郎, 畑中 大路	4. 巻 19
2. 論文標題 続・西彼杵高校の「学校改革」：「ブランド化」へ向けた取り組みの記録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 257-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中俣 浪漫, 畑中 大路	4. 巻 19
2. 論文標題 高校国語科授業における「基礎的・汎用的能力」を育成する授業の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 113-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井手 宏暢, 畑中 大路	4. 巻 19
2. 論文標題 ミドルリーダー育成に関する一考察：管理職の働きかけに関する事例分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 123-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 60
2. 論文標題 長崎南山中学・高等学校の挑戦	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 59
2. 論文標題 "学校組織マネジメント"における教頭の位置	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 58
2. 論文標題 ミドルリーダーによる "学校組織マネジメント"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 57
2. 論文標題 ”ビジョン”とはなにか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 56
2. 論文標題 ”ミッション”と”現状把握”	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 55
2. 論文標題 ある高校の”学校改革”	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORWARD	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 -
2. 論文標題 「「育成指標」に基づいた管理職養成プログラムの開発」の概要	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 「育成指標」に基づいた管理職養成プログラムの開発 報告書 (長崎大学大学院教育学研究科)	6. 最初と最後の頁 3-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 60
2. 論文標題 教育経営学における研究方法の動向の描出と分析 質的研究に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育経営学会紀要	6. 最初と最後の頁 30-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 60
2. 論文標題 ミドル・アップダウン・マネジメントにおける教頭の位置 高等学校における3年間の実践を分析事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育経営学会紀要	6. 最初と最後の頁 128-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 47(2)
2. 論文標題 主幹教諭・指導教諭がミドルリーダーとして機能するために	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑中大路	4. 巻 83
2. 論文標題 学校教育の変化を教師はどのように捉えるか：ある教師の行動記録と語りに着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 87-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計9件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 畑中大路
2. 発表標題 教職大学院における教育学研究の可能性と課題
3. 学会等名 九州教育学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 畑中大路
2. 発表標題 自著を語る - 『学校組織におけるミドル・アップダウン・マネジメント アイデアはいかにして生み出されるか』
3. 学会等名 M-GTA研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 畑中大路
2. 発表標題 教育経営学における価値不可分性の視点から
3. 学会等名 日本教育経営学会 第60 回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 畑中大路, 池田一幸, 青木大祐, 野崎晃由
2. 発表標題 学校経営へ参画するミドルリーダーの省察をいかにして促すか：実践者・研究者による共同分析を通じた方法論の検討
3. 学会等名 教育実践研究フォーラムin長崎大学
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 青木大祐, 池田一幸, 野崎晃由, 畑中大路
2. 発表標題 ミドルリーダーの省察を促す方法論の検討: 10年間のインタビューデータの共同分析
3. 学会等名 九州教育学会第71回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 畑中大路, 篠崎信彦, 岡野利男, 田中昭二, 千布本広, 林寛, 長谷川哲朗, 池田浩, 野中光治, 松元浩一, 榎景子, 藤本登, 三上次郎, 山口博徳, 前野泰介, 小西仁
2. 発表標題 「育成指標」に基づいた管理職養成プログラムの開発
3. 学会等名 教育実践研究フォーラムin長崎大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永島孝嗣, 畑中大路
2. 発表標題 M-GTAを用いた高等学校における授業研究会の談話分析 個人の葛藤と同僚性構築の視点から
3. 学会等名 日本教育方法学会第55回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 畑中大路
2. 発表標題 教育経営の質的研究の展望(1) ある教師が語る「組織における自身の役割」の変容過程
3. 学会等名 日本教育経営学会第58回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 畑中大路
2. 発表標題 学校経営へ参画するミドルリーダーの育成 「研究知」を活用した教育センターにおける研修を通じて
3. 学会等名 平成30年度 教育実践研究フォーラムin長崎大学
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 石川衣紀, 榎景子, 小西祐馬, 中村典生, 長谷川哲朗, 畑中大路	4. 発行年 2021年
2. 出版社 花書院	5. 総ページ数 146
3. 書名 新型コロナウイルスに直面した長崎の学校 : 教職員への緊急アンケート調査報告書	

1. 著者名 元兼正浩, 鄭修娟, 大竹晋吾, 柴田里彩, 波多江俊介, 畑中大路, 日高和美, 清水良彦, 金子研太, 梶原健二, 雪丸武彦, 楊川	4. 発行年 2020年
2. 出版社 花書院	5. 総ページ数 139
3. 書名 最新版 教育法規エッセンス : 教職を志す人のために	

1. 著者名 元兼正浩, 山内絵美理, 日高和美, 波多江俊介, 岩本晃代, 木村菜太, 殷爽, 大竹晋吾, 榎景子, 金子研太, 江口潔, 佐喜本愛, 柴田里彩, 楊川, 畑中大路, 原北祥悟, 餅井京子, 清水良彦, 小林昇光, 池田実世, 雪丸武彦, 泊秀明, 鄭修娟, 溝上敦子, 牧英治郎, 吉田安孝, 小杉進二, 川上具美, 垂見直樹, 岩永裕次, 田代智紀, 古賀和博, 兼安章子, 宮崎麻世, 武田祐子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花書院	5. 総ページ数 196
3. 書名 教育課程エッセンス 新学習指導要領を読み解くために一	

1. 著者名 北神正行・元兼正浩・本図愛実・浜田博文・露口健司・水本徳明・林孝・佐古秀一・南部初世・柳澤良明・照屋翔大・堀内孜・植田健男・服部憲児・佐藤晴雄・天笠茂・前原健二・安藤知子・曾余田浩史・武井敦史・藤森宏明・平井貴美代・佐藤博志・山下晃一・日高和美・藤原文雄・玉井康之・大畠菜穂子・雲尾周・竺沙知章・阿内春生・畑中大路ほか	4. 発行年 2018年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 169
3. 書名 教育経営ハンドブック	

1. 著者名 八尾坂修・伊藤 文一・森山賢一・宮古紀宏・星野真澄・永添祥多・島田和幸・畑中大路・雪丸武彦・露口健司・柏木智子・大畠菜穂子・岩本晃代	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ジダイ社	5. 総ページ数 207
3. 書名 新時代の教職概論 学校の役割を知る 教師の仕事を知る	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------